

食の安全と安心フォーラム2022.2.20

ファクトチェックとは何か

～FIJファクトチェック・ガイドライン
の解説もまじえて～

楊井 人文
(FIJ理事 兼 事務局長、弁護士)

きょう お話をするポイント

1. **ファクトチェックはいつ頃から誰が担ってきたのか？**
 - ジャーナリストも非ジャーナリストも担っている
2. **ファクトチェックは実務的にどのように行うのか？**
 - 検証対象を特定し、判定を行うプロセスについて
3. **ファクトチェックにはどのようなルールがあるのか？**
 - IFCNのルール、FIJのガイドラインについて
4. **経験に基づくファクトチェックの要諦、誤情報問題への向き合い方**
 - 「フェイクニュースを撲滅する！」の落とし穴

“ファクトチェック”の担い手とは

Section 1

ファクトチェックは
いつ頃から
誰が担ってきたのか？

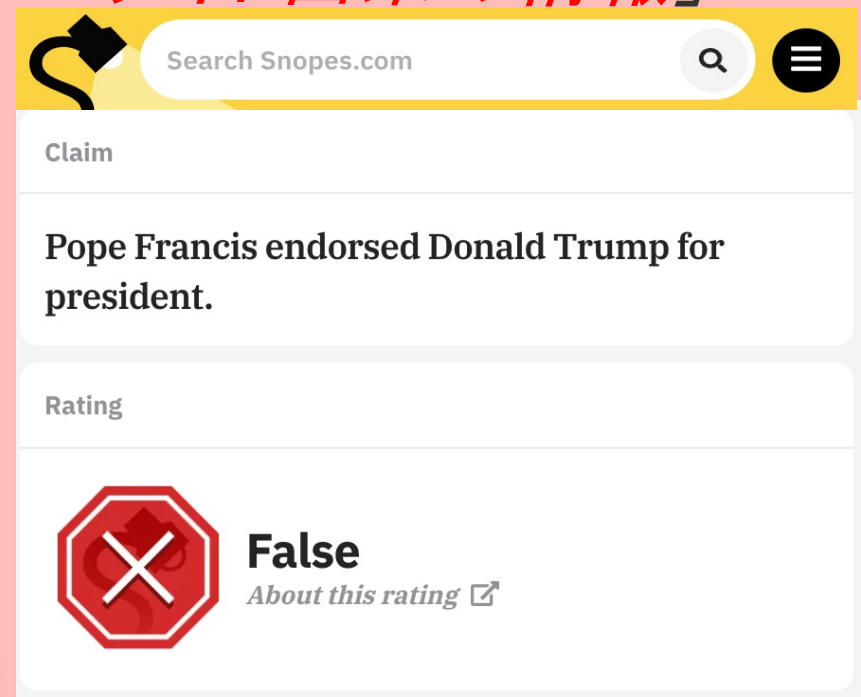
“ファクトチェック”の担い手とは

2016年に拡散
「ローマ教皇が
トランプ候補を支持した」



(WTOE5 NEWS より)

ファクトチェックサイト
Snopes.comの検証結果
「これは偽ニュース
サイト由来の情報」



(snopes.comより)

“ファクトチェック”の担い手とは

「ファクトチェック」とは

社会に広がっている真偽不明の情報・言説が

- (1) **事実に基づいているかどうか**を調べ、
- (2) **根拠・証拠を示して、**
- (3) **検証結果を発表すること**

一言で言えば

「真偽検証」

“ファクトチェック”の担い手とは

The Snopes logo features a black arrow pointing down and to the right, positioned above the word "Snopes" in a bold, black, sans-serif font. The entire logo is set against a bright yellow rectangular background.

1994年～
一般の夫婦が設立

ネット上の
様々な噂や
都市伝説など
幅広く検証

Fact Check > Viral Phenomena

Are People Dying From Exposure to Sarah Jessica Parker's Perfume?

A variant on a long-running online hoax accused the actress's "Lovely" fragrance line of being used by terrorists.



↪ 48

f

t

🖨

</>

+

CLAIM

People who smell the perfume "Lovely" are killed either instantly or within three days.

RATING



FALSE

“ファクトチェック”の担い手とは



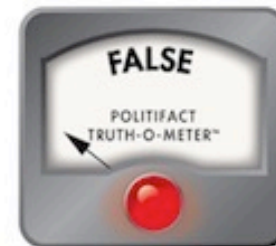
2007年設立
母体はフロリダ州の新聞社



DONALD TRUMP

"In seven years that (nuclear) deal will have expired, and Iran is free to go ahead and create nuclear weapons."

— *PolitiFact National on Wednesday, May 2nd, 2018*




Some changes, but
key limits remain

“ファクトチェック”の担い手とは


フランス大統領選（2017）CrossCheckプロジェクト 19の伝統メディア・新興メディアが参加

CrossCheck

A collaborative journalism project

[Learn more about the CrossCheck project](#) -  [Visitez la version française de cette page](#)

LIVE BLOG - RSS

 **FALSE**

Emmanuel Macron accused of planning to establish Sharia law in Mayotte

Posted on April 3, 2017


Macron veut rétablir la charia à Mayr polygamie, répudiation des femmes blasphème

Does Emmanuel Macron want to establish Sharia law in Mayotte?




FALSE



It's conjecture


It's an unconfirmed statement from a Macron supporter in Mayotte who is not an official representative

 **Manipulated**

Crosschecked by


  


 



SHARE

QUESTIONS

 **Emmanuel Macron accused of planning to establish Sharia law in Mayotte**

 **Jewish tombstones were not desecrated in the cemetery of Pantin**

Jean-Luc Mélenchon

“팩트체크”의担い手とは

韓国・ソウル大学ファクトチェックセンター (2017~)

factcheck
서울대학교 언론정보연구소

로그인 | 회원가입

분야별 검증 새정부 19대 대선 리포트 팩트체크 제안 ABOUT 뉴스 및 인물 검색어를 입력하십시오

트럼프의 한미FTA 재협상 요구, 거부 가능하다?
미국이 일방적으로 개정협상 요구해도 협상 시작해야 하는지 여부 검증

최신팩트 핫이슈 공지사항 >

트럼프 트럼프 미국 대통령의 한미FTA 재협상 요구, 거부할 수 있을까?
정치인(공직자)의 발언 | 정치, 경제, 국제, 새정부

대체로 거짓

성장하는 전 세계 팩트체크, 글로벌팩트 ...

32의テレビ・新聞社 ネットメディア参加

한국경제	아시아경제	NEWSIS
아이뉴스24	news1	머니투데이
세계일보	OhmyNews	TV조선
MBC	한국일보	KBS
채널A	MBN	조선일보
매일경제	서울신문	SBS
J 중앙일보	JTBC	YTN
NEWSTOF	문화일보	이데일리
동아일보	노컷뉴스	연합뉴스
시사위크	뉴스포스트	파이낸셜뉴스
중부일보	에너지경제	

“ファクトチェック”の担い手とは

国際ファクトチェックネットワーク



(2015～108社加盟)



“ファクトチェック”の担い手とは

北米・中南米・欧州・アフリカ・アジアなど
350以上のファクトチェック団体が活動中



(米国デューク大学 Duke Reporters' Labより)

“ファクトチェック”の担い手

＜ジャーナリズム系＞

- **大手・伝統メディアの部門（職業記者）**
（Washington Postなど）
- **伝統メディア由来の専門団体**（PolitiFactなど）

＜専門家集団・アカデミズム系＞

- **ファクトチェック専門家集団型**（Snopes, FullFact）
- **大学・研究所系統**（Factcheck.org）
- **専門家型**（Science Feedback）

＜その他＞

- **市民ボランティア**（Cofacts）
- **中間支援団体**（IFCN, First Draft, SNU F.C.C., FIJ）

“ファクトチェック”の担い手

検証対象の特徴による担い手のタイプ

- **匿名のネット言説・都市伝説**を中心に検証
(Snopesなど)
- **公人（政治家）の発言**を中心に検証
(PolitiFactなど)
- **報道・有識者の発言**を中心に検証
(PunditFact, GoHoo(~2019)など)
- **科学分野に関する言説**を中心に検証
(Science Feedbackなど)

“ファクトチェック”のプロセス

Section 2

ファクトチェックは
実務的に
どのように行うのか？

“ファクトチェック”のプロセス

① 疑義言説の捕捉

- モニタリング／情報提供など複数のルートで覚知

② 検証対象の選定

- 社会的影響などから検証の必要性の高いものを取捨選択
(※IFCN加盟基準は「公共性」案件が4分の3以上)

③ 事実言明の特定

- 対象言説から事実言明を抽出し、検証可能な命題を特定

“ファクトチェック”のプロセス

④ 根拠事実の有無を認定

- 検証可能な命題を根拠づける事実があるのかどうかを調査・取材

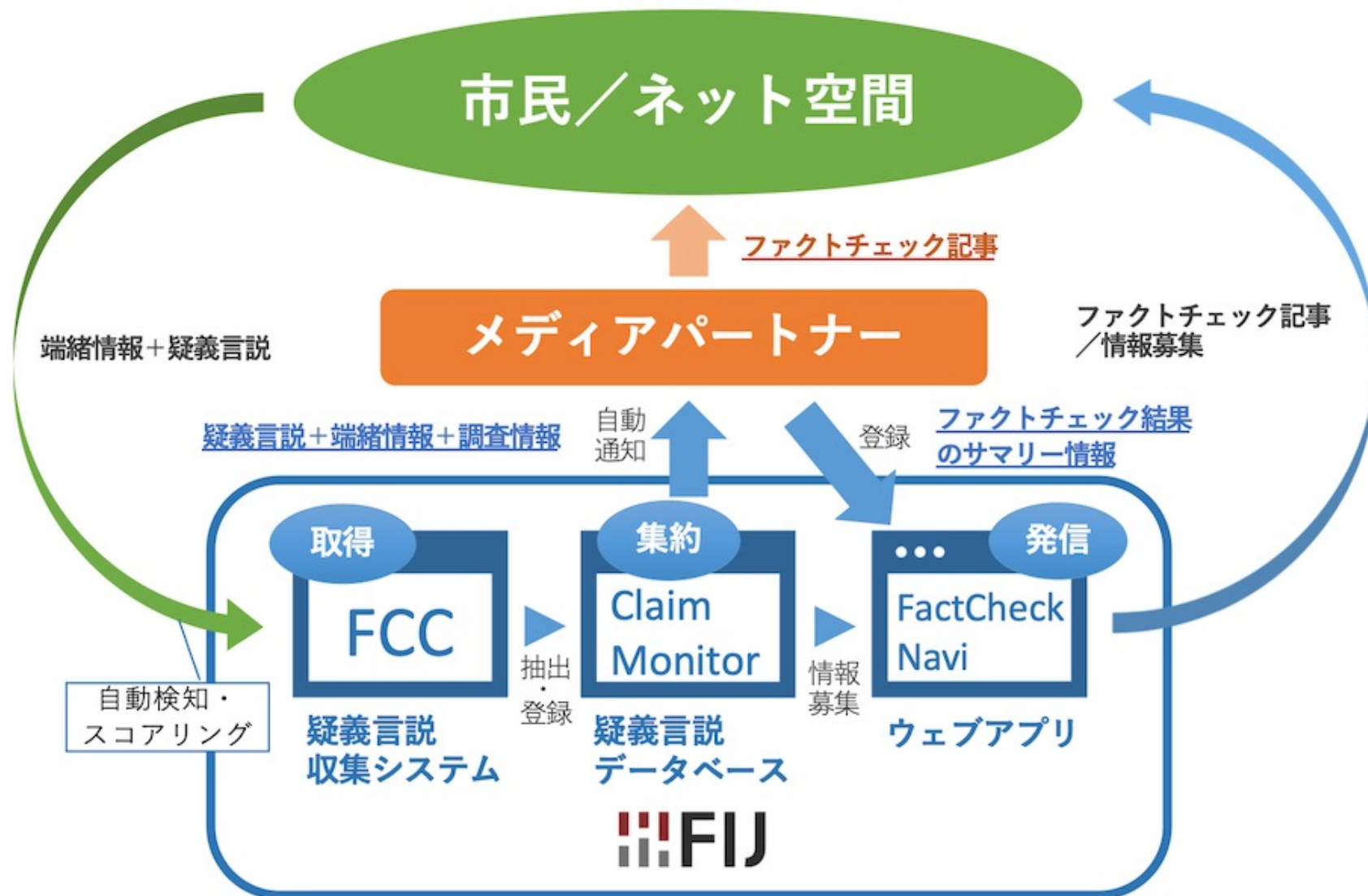
⑤ 対象言説の正確性評価（レーティング）

- 評価基準に基づいて、検証結果を当てはめ

⑥ 検証結果の記事化

- タイトル・対象言説の明示・根拠事実についての調査結果（情報源・出典の明示）・レーティング・レーティングの理由づけ

“疑義言説の捕捉”を支援するシステム



“疑義言説の捕捉”を支援するシステム

ClaimMonitor by FIJ

モデレーター用 通報フォーム | 一般用 通報フォーム

トランプの票を大量に廃棄、埋めた (画像)

検査 審大

ネット言説 著名人

アメリカ大統領選

通報日: 2020.11.05 12:53 通報者: Umino

FC記事

パス

疑義言説

トランプの票を大量に廃棄、埋めた

発信者

孫向文

発信源URL

<https://twitter.com/sonkoubun/status/13241430>

孫向文 新刊「超限戦事変」好評発... @sonkoubun

トランプの票を大量に廃棄、埋めた twitter.com/KAGWAR2020/sta...

午前9:14 · 2020年11月5日

ClaimMonitorに登録された疑義言説／ 端緒情報を手掛かりに記事化された例

BuzzFeed ログイン

News 動画 お買い物 クイズ・診断 Taste

FACT CHECK

Buzz
公開 2020年11月6日

米大統領選「トランプの票を大量に廃棄、埋めた」は誤り。拡散された画像はどれも別のニュースからの切り取り

道路に投票用紙が捨てられているように見える画像と共に発信された「トランプの票を大量に廃棄、埋めた」という情報。これらの投票用紙はどれも過去の別のニュースに映し出されたもので、今回の大統領選でトランプ氏へ投じられたものではない。

by Yuto Chiba
千葉 雄登 BuzzFeed News Reporter, Japan

BuzzFeed JapanはNPO法人「ファクトチェック・イニシアティブ」(FIJ)のメディアパートナーとして、2019年7月からそのガイドラインに基づき、対象言説のレーティング(以下の通り)を実施しています。

ファクトチェック記事には、以下のレーティングを必ず記載します。ガイドラインは [こちら](#) からご覧ください。なお、今回の対象言説は、FIJの共有システム「Claim Monitor」で覚知、そのレポートを参考にしました。

“ファクトチェック”のプロセス

FIJガイドライン推奨の**正確性評価（レーティング）** 基準

正確

事実の誤りはなく、
重要な要素が欠けていない

ほぼ正確

一部は不正確だが、
主要な部分・根幹に誤りはない

ミスリード

一見事実と異なることは言っていないが、
釣り見出しや重要な事実の欠落などにより、
誤解の余地が大きい

不正確

正確な部分と不正確な部分が混じっていて、
全体として正確性が欠如している

根拠不明

誤りと証明できないが、
証拠・根拠がないか非常に乏しい

誤り

全て、もしくは根幹部分に
事実の誤りがある

虚偽

全て、もしくは根幹部分に事実の誤りが
あり、事実でないと知りながら
伝えた疑いが濃厚である

判定留保

真偽を証明することが困難。誤りの可能性
が強くはないが、否定もできない

“ファクトチェック”のルール

Section 3

ファクトチェックには
**どのようなルール
があるのか？**

“ファクトチェック”のルール



国際ファクトチェックネットワークの綱領 (2016年制定)

- ① **非党派性・公正性** *Nonpartisanship and Fairness*
- ② **情報源の透明性** *Transparency of Sources*
- ③ **財源・組織の透明性** *Transparency of Funding and Organization*
- ④ **方法論の透明性** *Transparency of Methodology*
- ⑤ **明確で誠実な訂正** *Open and Honest Corrections*

“ファクトチェック”のルール



ファクトチェック・ガイドライン

(2017年暫定版、18年正式制定、19年改定)

非党派性・公正性

特定の主義主張や党派・集団等に対する擁護や批判を目的とせず、公正な基準と証拠に基づいて、事実に関する真実性・正確性の検証に徹するものとします

(「第2 目的・定義」第2項)

“ファクトチェック”のルール



ファクトチェック・ガイドライン

ファクトチェック記事の構成要素

- ①対象言説の特定
- ②対象言説の真実性・正確性の判定
- ③判定の理由や根拠情報

（「第2 目的・定義」第4項）

“ファクトチェック”のルール



ファクトチェック・ガイドライン

ファクトチェックの検証対象

- a. 原則として、客観的な証拠によって事実の存否や正確性を検証しうる「事実言明」とします。何ら事実言明を含まない意見表明や主張は、ファクトチェックの対象としないものとします
- b. 検証の対象は、不特定多数者に公開され、社会に影響を与える可能性のある言説とします

（「第3 ファクトチェック記事の記載事項」第2項 (1)）

“ファクトチェック”のルール



ファクトチェック・ガイドライン

発信者による訂正・修正に関する明記

対象言説の内容について発信者自身が訂正・修正をしているときは、その旨を明記するものとします

ファクトチェック記事を公開した後に、対象言説の内容について訂正等がなされたときは、その旨を追記するものとします

(「第3 ファクトチェック記事の記載事項」第2項 (2)c, (3))

“ファクトチェック”のルール



ファクトチェック・ガイドライン

事実認定と結論の明示

検証の結果、どのような事実を認定し、
どのような結論に至ったのか、対象言説
の真実性・正確性についていかなる評
価・判定（レーティング）をしたのか、
を明示するものとします

（「第3 ファクトチェック記事の記載事項」第3項）

“ファクトチェック”のルール



ファクトチェック・ガイドライン

根拠・情報源の明示（透明性）

事実認定や結論・判定に至った理由について第三者が検証できるように、客観的な証拠（エビデンス）・出典や情報源（ソース）をできるだけ具体的かつ詳細に記載するものとしします

（「第3 ファクトチェック記事の記載事項」第4項）

“ファクトチェック”のルール



ファクトチェック・ガイドライン

ファクトチェックと論評・解説の峻別

- (1) ファクトチェック記事は、できるだけファクトチェック（真偽の検証）に徹し、意見や論評、解説を混在させないようにします
- (2) ただし、読者の理解を深めるために、ファクトチェック記事の中において解説等を盛り込むときは、私見はできるだけ抑え、必要以上に批判的、攻撃的、侮辱的な表現を用いないものとします

（「第3 ファクトチェック記事の記載事項」第5項）

“ファクトチェック”のルール



ファクトチェック・ガイドライン

作成者の明記・訂正履歴の開示（透明性）

ファクトチェック記事には、公開した日時と作成者（複数のメンバーが属する組織・媒体において発表するときは、当該記事の担当者名）を明記するものとしします

ファクトチェック記事の内容に重要な追記・修正・訂正などがあつたときは、その履歴を読者が容易に認識できるように記載するものとしします

（「第3 ファクトチェック記事の記載事項」第7,8項）

“ファクトチェック”のルールまとめ

- ✓ **検証対象は検証可能な事実言明！**
 - 「人の価値観と無関係に、客観的な証拠によって確認できる事柄に言及したもの」であって、それが「事実」と受け取られる可能性のあるもの。主観的な見解、意見、冗談・パロディーの類は**検証対象外**
- ✓ **事実認定の根拠・情報源を明示！**
 - 情報源（ソース）を明示し、検証結果が妥当なのかどうか**読者が事実認定のプロセスをたどれるようにする**
- ✓ **特定の立場から離れよ！**
 - ファクトチェッカー自身の立場・価値観・見解はいったん傍におく。自らの立場と近いか遠いかにによって**手加減しない**。客観的な事実探求の妨げになるから

“ファクトチェック”の要諦

Section 4

経験に基づく
ファクトチェックの要諦、
誤情報問題への向き合い方

“ファクトチェック”の要諦

- ① ファクトチェックの**レーティング**は、**検証結果をわかりやすく伝えるための有効な手段**だが、ファクトチェッカーにとって**鬼門**である

“ファクトチェック”の要諦

これをどのようにレーティングしますか？

【例題】「2015年の大阪市の（都構想）住民投票は過去最大規模」
（推進派の言説・一部メディアの報道）

【確認された事実】
1950年代に東京都民の住民投票が行われ、大阪市の有権者数を100万人以上も上回る規模だった。

「誤り」？「不正確」？「ほぼ正確」？

“ファクトチェック”の要諦

FIJガイドライン推奨の**正確性評価（レーティング）** 基準

正確

事実の誤りはなく、
重要な要素が欠けていない

ほぼ正確

一部は不正確だが、
主要な部分・根幹に誤りはない

ミスリード

一見事実と異なることは言っていないが、
釣り見出しや重要な事実の欠落などにより、
誤解の余地が大きい

不正確

正確な部分と不正確な部分が混じっていて、
全体として正確性が欠如している

根拠不明

誤りと証明できないが、
証拠・根拠がないか非常に乏しい

誤り

全て、もしくは根幹部分に
事実の誤りがある

虚偽

全て、もしくは根幹部分に事実の誤りが
あり、事実でないと知りながら
伝えた疑いが濃厚である

判定留保

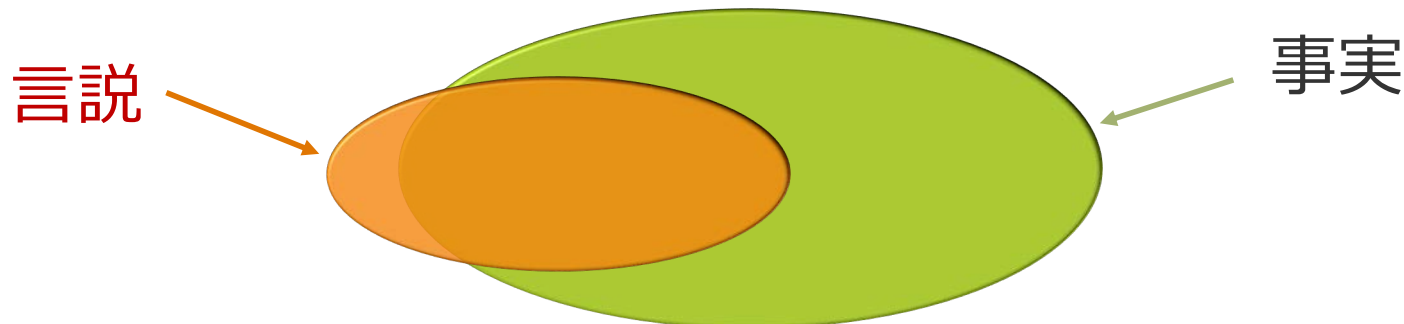
真偽を証明することが困難。誤りの可能性
が強くはないが、否定もできない

“事実”（ファクト）とは何か？

- ✓ 「事実」の辞書的定義は「**実際に起こった事柄。現実に存在する事柄**」
- ✓ 「事実」とは、誰でも認識可能な**証拠**から、揺るぎないものと確認できる**客観的事実**
- ✓ 物理的な事実に限らず、**社会的事実**（制度的な概念など）も含まれる

“誤情報”とは何か

- ✓ 対象言説を通常の注意力と国語力で解釈して得られる「**事実認識**」(perception)と、客観的に確認可能な「**事実**」(fact)の間に何らかの**食い違い (不一致)**がある場合
- ✓ 「事実と異なる」と“評価”されるのは**看過できない重要な不一致がある(と評価される)**ケースが多い→価値判断が入り得る



言説は事実の一部分を反映するもので、事実と言説は100%一致しない。

“ファクトチェック”のレーティング

✓ レーティングはファクトチェッカーの 相対的な評価である

- レーティングはファクトチェッカーの相対的な判断・評価であって「事実認定」そのものとは異なる（同じ事実認定でも、ファクトチェッカーによって評価が分かれることも多い）
- 検証内容は問題なくともレーティングによって誤解、批判、論争や反発のリスクをはらむので、基準を明確化し、その都度そのレーティングをした理由も丁寧に説明した方がよい
- 自分の立場・価値観と距離感のある言説に対しては厳しく判定しがちなので慎重に

“ファクトチェック”の要諦

- ② 正義感で取り組むのではなく
事実探求・解明のプロセスを楽しむ
くらいの心持ちがよいかも

“ファクトチェック”の要諦

- ✓ **ファクトチェックは**
“フェイク” “デマ” 撲滅活動でも、
価値観と異なる言説を批判することでもない
- そもそも撲滅は**不可能**、かつ**危険**
- 「フェイク」「デマ」「ウソ」といった**攻撃的・侮蔑的な表現は極力避ける**
- 情報の真偽を**見極めるために必要な判断材料**を提供した結果、それを**誤情報と判断し、正しい事実認識に至るかどう**かは、**最終的に各人次第**

“ファクトチェック”の要諦

✓ **ファクトチェック記事も厳しい検証の対象となり得る。信頼されるためにはいかに？**

➤ **無理はしない**

（誤情報と認定することが目的ではない。ファクトチェックにそぐわない題材を無理に扱わない）

➤ **自らを疑い、偏りを自覚する**

（自らの価値観に近い言説も意識的に取り上げてみる）

➤ **一人で行わず、他者のチェックを仰いで吟味する**

（立場の違う人とも仕事を一緒にする）

“ファクトチェック”の要諦

- ③ 最後に . . .
ファクトチェックは**万能ではなく**
限界もある
それでもやはりファクトチェックは
必要なのか？
誤情報問題との向き合い方について

最後に…私の考える目指すべき方向性

誤情報／偽情報は撲滅できないし、直接規制は不適切



誤情報／偽情報の可視化・実態把握のために
民間の多様な担い手によるファクトチェック



メディア情報リテラシー教育での活用
有効な対応策の学術研究
プラットフォーム・SNS事業者との連携による拡散抑止



市民のメディア情報リテラシー向上
誤情報／偽情報に対する社会の免疫力を強化

参考資料

YouTube ファクトチェック知りたい シリーズ

